

2024
5.15

NEWS

CIT

千葉工業大学 入試広報部
CHIBA INSTITUTE OF TECHNOLOGY〒275-0016
千葉県習志野市津田沼2丁目17番1号
TEL 047(478)0222
FAX 047(478)3344

[NO.684]

校章は、創立直後の昭和17年、公募によって制定され、平成4年、創立50周年に伴い、商標登録されました。新しいNEWS CITはスクールカラーの「紫紺」をベースに、さわやかなスカイブルーカラーでお届けします。



学生が主体となって小型観測ロケットを開発(和田 豊 研究室)

<https://www.it-chiba.ac.jp/>

2025年4月、新たに 宇宙・半導体工学科が誕生 (設置届出申請中)

ロケットや人工衛星の打ち上げ、衛星を通じたサービスなど宇宙空間を活用するビジネスが広がりを見せています。そうした宇宙産業とも関連が深く、急速にデジタル化が進展する現代において必要不可欠となるのが半導体技術です。国も今後の成長が期待される分野として支援をしていますが、担い手となる人材が大幅に不足しています。本学では「世界文化に技術で貢献する」という建学の精神を実現するため、世界的ニーズが高まっている宇宙分野と半導体分野において次世代を担う研究者・技術者を育成することを目的として、日本の私立大学として初となる宇宙・半導体工学科が誕生します。

P2-3 [トピックス]2025年4月、新たに宇宙・半導体工学科が誕生/令和6年度予算案を承認/[受賞・イベント]令和5年度後期のグッド・レクチャー賞、ベスト・ティーチャー賞が決定/毎日広告デザイン賞で伊藤学長就任記念広告が優秀賞受賞/「未来のかけら:科学とデザインの実験室」デザインを通じて体感する、未来の技術の面白さ・美しさ/次世代型人工知能ESNにおけるTHTの有用性を評価、さらなる性能向上を目指したモデル開発への貢献が期待

P4-5 [受賞・イベント]日本建築学会上で修士論文賞を受賞/日本建築学会で若手優秀発表賞を受賞/人工知能学会で研究会優秀賞を受賞/大学院の松本さんがダブル受賞/永島さんが審査員特別賞を受賞/南方英明教授にフェローの称号を授与(電気学会)/松井伸介教授にフェローの称号を授与(精密工学会)/自律型ロボットの開発で優秀イノベーション賞を受賞/2日間で延べ3,000人が参加 オープン・カンパニー

P6-7 新任紹介

P10 就職・進路支援だより/コラム

宇宙・半導体分野の発展に貢献できる人材を養成

学びの特色 ①

機械工学と電子工学の
両方の知識・技術を身につけます

学びの特色 ②

最先端のものづくりに必要な
設計センスを養います

学びの特色 ③

航空宇宙業、半導体産業、医療福祉産業、
自動車産業など将来の可能性が広がります

ものづくりのベースとなる機械工学・電子工学を学ぶと同時に、その応用分野として、宇宙という極限状態で求められるものづくりの知見や、材料やスイッチングといった半導体に用いられる技術について俯瞰的に見られる視点を養います。学びのステップは、まず機械工学・電子工学の基礎を習得するところからスタートし、機械・電気電子関連の工業製品を実際に開発する実践的な能力を身につけていきます。4年次に設けられた「発展講義」では、宇宙機開発のための設計・解析・制御技術や半導体に特化した物理の知識などを学び、将来的に宇宙機、半導体デバイス、メカトロニクス機器の開発製造に関わる技術職や研究開発職として活躍できる人材を育成します。

活躍できる業界・職種

半導体製造業 / 宇宙用機器の開発技術者 / 家電メーカーの開発技術者 / 産業用ロボットの開発技術者 / 自動車メーカーの開発技術者 / 医療・福祉機器の開発技術者 / 生産設備の設計開発エンジニア / 航空機関連のメンテナンス・生産管理・開発技術者 他

令和6年度予算案を承認

3月26日、東京ガーデンパレスで開かれた本学理事会・評議員会で、令和6年度予算案が承認されました。事業計画、予算の概要については、本学webサイトに全文を公開しています。

事業計画について



令和6年度
予算案について



令和5年度後期のグッド・レクチャー賞、 ベスト・ティーチャー賞が決定



ベスト・ティーチャー賞を受賞した中村助教

令和5年度ベスト・ティーチャー賞

教育センター 中村 達 助教

令和5年度後期グッド・レクチャー賞

令和5年度後期グッド・レクチャー賞に教員13名が選ばれ、5月9日の受賞式で表彰されました。その中から教育センターの中村達助教が同年度ベスト・ティーチャー賞に決まり、伊藤穰一学長からお祝いの言葉とトロフィーが送られました。

過去5回以上ベスト・ティーチャー賞を受賞した教員はDistinguished Teacher、同5回以上グッド・レクチャー賞を受賞した講義はDistinguished Lectureと認定され、令和2年以降は表彰対象から外しています。これまでにDistinguished Teacherに認定されたのはデジタル変革科学科の鴻巣努教授です。Distinguished Lectureに認定されたのは未来ロボティクス学科の米田完教授、建築学科の石原沙織教授、教育センターの佐藤和教授、引原有輝教授、市川洋子助教です。今年度後期受賞者は右の通り(順不同)。

機械工学科 熱海 武憲 教授 / 先端材料工学科 小山 和也 教授 / 電気電子工学科 山崎 克巳 教授 / 未来ロボティクス学科 大川 茂樹 教授 / 教育センター(工学部) 福嶋 尚子 准教授 / 重 歩美 助教 / 畠山 雄二 非常勤講師 / 森林 駿介 非常勤講師 / 教育センター(創造工学部) 東山 幸司 教授 / 野村 由実 助教 / 教育センター(未来変革科学部) 木島 愛 教授 / 中村 達 助教 / 高松 佑介 助教

毎日広告デザイン賞で伊藤学長就任記念広告が優秀賞受賞



伊藤穰一は
千葉工大で
何を始める
つもりなのか。

伊藤穰一新学長就任広告『伊藤穰一は千葉工大で、何を始めるつもりなのか。』

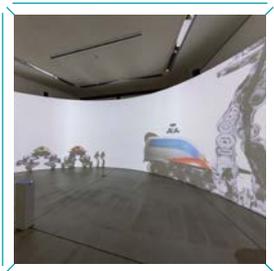
昨年、本学が伊藤穰一学長の就任を記念して全国紙の朝刊に掲載した広告が、毎日新聞社主催、経済産業省後援の毎日広告デザイン賞(93年の歴史を持つ)の第91回入賞作品・広告主参加作品の部で優秀賞に選ばれました。審査の結果、4月3日に発表され、表彰式は2023年4月17日に東京都文京区のホテル椿山荘東京で開催されました。この表彰式は、2023毎日デザイン賞表彰式と同時開催されました。

受賞した新聞広告は、「伊藤穰一は千葉工大で、何を始めるつもりなのか。」というタイトルで、10月

23日に毎日、朝日、読売、日経、産経新聞などに掲載されました。広告は渡辺潤平社が制作したもので、15段のカラーページに掲載しました。新学長に就任した伊藤学長の右手にQRコードをかかげ、紙面の二次元コードをスキャンすると「伊藤穰一スペシャルインタビュー」に誘導されるという新聞広告連動企画となっています。

この広告はSNSでも話題となり、「千葉工業大学から変革が始まり、新しいリーダーが生まれそう」「既存の枠に捕らわれず新たな変革に期待します」といったコメントが多く寄せられました。

「未来のかけら：科学とデザインの実験室」 デザインを通じて体感する、未来の技術の面白さ・美しさ



©Keizo Kioku

3月29日から東京・六本木の21_21 DESIGN SIGHTで企画展「未来のかけら 科学とデザインの実験室」が開催中です。展覧会ディレクターを務める山中俊治氏がこれまで手がけてきたプロジェクトを中心に、様々な研究者やクリエイターのコラボレーションによって生まれたプロトタイプやロボット、その原点であるスケッチを展示。また、専門領域が異なる7組のデザイナー・クリエイターと科学者・技術者による多彩な作品も紹介され、未来のかけらたちを通じて、科学とデザインの無数の可能性を探っています。

本学からは、未来ロボット技術研究センター

(fuRo)+山中俊治氏が手がけた、機能性や生産性ではなく、最先端の美しい機械構造を基軸にしたロボットを展示しています。これらのロボットは、モーターやケーブルを隠さず、骨格構造から美しさを追求するデザインコンセプトに基づいており、「morph3」「Hallucigenia 01」「Halluc IIχ」「CanguRo」「RULO」などがスケッチや図面とともに紹介されています。また、「ON THE FLY」や「Wonder Robot Projection」といったインスタレーションの展示から、本展の「体験性」の高さが伺えます。会期は8月12日まで。

次世代型人工知能ESNにおけるTHTの有用性を評価 さらなる性能向上を目指したモデル開発への貢献が期待



情報科学研究科
江波戸 雄大さん



情報工学科
信川 創 教授



数理工学研究センター
酒見 悠介 上席研究員

大学院情報科学研究科の江波戸雄大さん(博士後期課程1年)、情報工学科の信川創教授、数理工学研究センターの酒見悠介上席研究員ら3名と東京大学などの研究チームは、ニューロン内部の「時間履歴項」(THT)の調整によるダイナミクスの最適化が次世代型人工知能「エコステートネットワーク」(ESN)の性能向上で重要な役割を担うことを解明し、5月1日に発表しました。研究成果は4月15日に英科学雑誌「Scientific Reports」で紹介されています。

ESNは効率的な学習を実現する人工知能で、学習効率が高い機械学習手法であるリザーブコンピューティング(RC)モデルの一種です。同モデルは訓練しない再帰型ニューラルネットワーク(RNN)を利用し、出力への重みのみを調整します。低消費電力の物理実装が可能な次世代型人工知能で、音声認識や株価予測、ネットワークトラフィック制御などへの応用が研究されています。

本学と東大などの研究チームは、ESNのリザーブを構成するニューロンモデルのTHTがどのように性能に寄与するかを調査しました。THTは現時刻のニューロンの発火状態に過去の自らの発火状態の履歴をどの程度残すかを調節するパラメータで、調整によってリザーブの状態変動のタイムスケールを

入力信号や目標出力に合わせることができます。

ESNの性能向上にはTHTが有効であるとされてきましたが、これまで具体的な調整方法や効果などは十分に検証されておらず、通常のESNと比べてどのように、どの程度性能が高いのかは定量的に示されていませんでした。

研究チームは、記憶性能や安定性、ダイナミクスの多様性などESNの性質にかかわる実験を通じ、THTを導入したESNモデルが安定性とダイナミクスの多様性を保持しながら、通常のモデルでは実現できない高い記憶性能を実現することを定量的に示しました。研究成果はESNにおけるTHTの有用性を評価し、さらなる性能向上を目指したモデル開発に貢献すると期待されます。

研究は本学の江波戸、信川、酒見3名のほか、東京大学の合原一幸特別教授・名誉教授(本学数理工学研究センター主席研究員)、大和大学情報学部情報学科の西村治彦教授、工学院大学先進工学部機械理工学科の金丸隆志教授、東京都市大学知能情報工学科のニーナ・スヴィリドヴァ講師が共同で行いました。今後、時系列予測以外のタスクでの性能評価や複数のタイムスケールを持つ時系列に対する適用などを行う予定です。

日本建築仕上学会で 修士論文賞を受賞



建築学専攻 呉 阿龍 さん
【石原 沙織 研究室】

3月13日、建築学専攻修士課程2年(受賞時)の呉阿龍さんが、2024年度日本建築仕上学会の修士論文賞を受賞しました。修士論文「ウレタンゴム系塗膜防水による改修工事における下地コンクリートのひび割れ補修方法が耐疲労性に及ぼす影響」は、選考委員会において特に優秀な論文と認められました。本研究は、防水改修時の押えコンクリートのひび割れの補修について、全国の施工者への実態調査を基に、各補修方法が防水層の耐久性に及ぼす影響を明らかにし、施工性も加味し、適切な補修方法を提案したものです。呉さんは「個人の力では決して届かない受賞で、石原沙織教授にご指導頂き、研究室の仲間にご協力を頂いた結果です」と話しています。

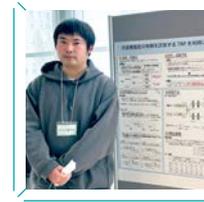
日本建築学会で 若手優秀発表賞を受賞



建築学専攻 戸邊 郁哉 さん
【石原 沙織 研究室】

建築学専攻修士課程2年(受賞時)の戸邊郁哉さんが2023年11月、日本建築学会大会(近畿)学術講演会の材料施工部門で若手優秀発表賞を受賞しました。研究テーマは「浸水害を受けた内壁下地材の吸水・乾燥及び曲げ特性」。異常気象による住宅の浸水被害が多発する中、浸水によって部材の性能はどの程度低下するのか、乾燥後に性能は回復するのかといった基礎的データはあまり蓄積されていませんでした。戸邊さんは、浸水深を変数として吸水と乾燥特性を明らかにするとともに、力学的性能の一例として曲げ破壊荷重の推移を実験で明らかにしました。戸邊さんは、石原沙織教授や研究室のメンバーらに感謝し、努力を続けると抱負を語りました。

人工知能学会で 研究会優秀賞を受賞



情報工学科 岩立 直也 さん
【有本 泰子 研究室】

人工知能学会の言語・音声理解と対話処理研究会第100回研究会で、情報工学科4年(発表時)の岩立直也さんの研究が4月23日、研究会優秀賞を受賞しました。研究テーマは「次話者指定の有無を区別するTRP(話者移行適格場)を利用した3人会話場面の話者交替予測モデル」。現話者が次話者を指名した交替なのか、次話者が自己判断した交替なのかを区別する予測モデルの構築です。TRP予測を次話者指定付きの交替予測に利用することが有効であることを明らかにし、TRPを学習することでTRPと非TRPでの話者継続の混同が減少しました。卒業生の岩立さんは在学時の研究が認められ、有本先生や研究室のメンバーに感謝していると喜びを語りました。

大学院の松本さんがダブル受賞



工学専攻
松本 修治 さん
【橋本 紳一郎 研究室】

2023年7月7日、福岡国際会議場にて開催された第45回コンクリート工学講演会で、工学研究科工学専攻博士課程2年(受賞時)の松本修治さんが「年次論文奨励賞」を受賞しました。研究テーマは「吹付けコンクリートの配合要因などが付着性に及ぼす影響」。技能者不足が深刻化する中で、吹付けコンクリートの自動施工において、付着性を確保する手法を提案しています。この研究では、急結剤添加率、細骨材率、およびコンクリート温度が付着性に与える影響を明らかにしました。

さらに、2024年2月22日には公益社団法人土木学会で開催された令和5年度土木学会トンネル工学研究発表会にて「優秀講演賞」を受賞しました。受賞テーマは「トンネル

覆工コンクリートの全自動打設システムの施工実績」。技能者不足に対応するために開発された全自動打設システムの有用性を実証しています。このシステムは、施工時の人員を7名から4名に削減し、狭い作業環境でも省力化と省人化を実現しました。松本さんは「技術の有用性が認められ嬉しい。今後も業界への貢献を目指したい」と語っています。

両研究ともに、実施工条件下での評価や新たな技術開発が求められる中で、大型実験や耐久性試験など多くの困難を乗り越えて実現。松本さんの努力と革新的なアプローチが高く評価され、今回のダブル受賞に至ったことは、今後の建設業界に大きな影響を与えると考えられます。

永島さんが 審査員特別賞を受賞



都市環境工学専攻 永島 啓介 さん
【橋本 紳一郎 研究室】

3月23日、日本大学理工学部駿河台校舎にて開催された第2回全国圧送技術大会において、都市環境工学専攻修士課程2年(受賞時)の永島啓介さんが審査員特別賞を受賞しました。研究テーマは「トンネル覆工の圧入施工方法に対する自己充填コンクリートの充填性評価に関する検討」で、自己充填コンクリートを用いた新しい工法を提案。同研究は、型枠への充填性や充填完了の目安を評価するために配管に圧力計を設置し、実験を通じて圧送初期の平均管内圧力と最大管内圧力の圧力比から充填状況を把握する方法を検討しました。永島さんは「今回の受賞は初めてで、大変嬉しく思います。指導教員や協力企業、研究室の仲間たちに感謝しています」と述べています。

南方英明教授に フェローの称号を授与 電気学会



未来ロボティクス学科の南方英明教授は令和6年3月4日、電気学会よりフェローの称号を授与されました。南方教授は学生時代より電気学会の会誌編修に携わり、また本学教員としてロボットや人間支援機器の研究や学生の教育に従事するとともに、学会運営にも多大に貢献してきました。特に電気学会産業応用部門においては初代ものづくり技術委員会委員長を約10年にわたって務め、部門役員会でも表彰・総務・会計等を歴任し、役員会に貢献しました。南方教授は今回のフェロー認定に際し「桃栗三年柿八年と言いますが、学会活動も似たようなところがあります。本学がじっくりと腰を据えて教育研究に取り組める環境であり続けて欲しいです。」と語りました。

自律型ロボットの開発で 三島さんと花岡さんが優秀イノベーション賞を受賞



左から花岡さん、三島さん。ロボットと共に

3月23～24日に開催された「ロボカップジュニア・ジャパンオープン2024名古屋」（名古屋市国際展示場）で、本学のチーム「REAL ROBOT」の三島心人さん（情報ネットワーク学科2年）と花岡凜さん（未来ロボティクス学科2年）が優秀イノベーション賞を受賞しました。

ロボカップは、ロボット工学と人工知能の融合・発展を目的に提唱された自律移動ロボットによる国際的な競技大会。ロボカップジュニアは19歳以下が参加し、日本各地の地区大会を勝ち上がった選手が世界大会出場をかけて競いました。

三島さんらが参加した自律型ロボットによ

るサッカー競技は、素早くボールを判別し、2台のロボットが協調しながらゴールを目指します。ロボット重量2.4kgの「オープンリーグ」では11チームが競い、世界大会推薦順位の6位を獲得しました。

ソフトウェア担当の三島さんは「今まで使ったことがない様々な技術に挑戦することができました。知らなかった技術について学び、実装することができたため有意義な開発になったと思います」、花岡さんは「マイコンのハードウェア抽象化レイヤでの開発やカメラの画像認識の高速化、移動アルゴリズムなどの要素が評価されて嬉しかったです」と喜びを語りました。

未来ロボティクス学科
花岡 凜 さん

情報ネットワーク学科
三島 心人 さん

松井伸介教授に フェローの称号を授与 精密工学会



精密工学分野における学術活動や技術開発における顕著な業績、および同学会の発展に顕著な貢献をしたとして、精密工学会フェローの称号を授与されました。引き続き、同学会を代表する会員として、学会の諸活動へ積極的に参画し、「精密工学の発展を図る」という目的の達成に率先してアクティブな活動が期待されています。精密工学会は、精密工学に関する学術・技術の振興をはかり、研究者・技術者の質的向上と科学技術情報の発信により、社会の発展に寄与することを目的として活動しています。

2日間で延べ3,000人が参加 オープン・カンパニー



オンライン、対面合わせて約50社の企業が参加



企業担当者から直接話が聞ける貴重な機会

就職活動に向けて企業情報を知りたい、という全学年の皆さんが、業界や企業について企業担当者から直接話を聞ける「オープン・カンパニー※」を、5月9日および11日に実施しました。

参加者は企業の個別ブースを訪問し、会社や業界に関する情報提供・PRなどを聞く貴重な機会となりました。大手有名企業が多数参加し、2日間3回の実施でのべ3,000名もの学生が参加する、一大イベントとなりました。特に学部3年生・修士1年生については、今後多くの学内イベン

トを予定しております。保護者の皆様からも、積極的な参加を促していただけますよう、お願い申し上げます。

※オープン・カンパニー

企業や大学等が主催する学生のキャリア形成支援であり、個社や業界に関する情報提供・PRを行うイベントや説明会。オープン・キャンパスの企業版ともいえるプログラムで、いわゆる採用活動とは異なります。

着任の感想や抱負を語って
もらいました



新任紹介

(敬称略)



教員



うすい ひろゆき
薄井 宏行
教授
都市環境工学科

元気な学生が多い印象です。今後は教育と研究に動きます。趣味は野鳥観察、まちあるき。



かねこ なおし
金子 尚志
教授
建築学科

大学の環境と私自身のポテンシャルを再発見し、新たな価値創造とともに教育・研究を推進していきたいと思っています。



くまたに あきちか
熊谷 明哉
教授
電気電子工学科

学生が自分の強みとして個性を見つけ出し、社会に貢献できるような技術経験が得られる教育・研究環境を共に作り上げていきたいです。



しばた よしたか
柴田 吉隆
教授
デザイン科学科

ひとりひとりが「社会は自分で変えられる」というデザインのマインドセットを獲得できるよう、学生に伴走していきます。



ちょう めんう
趙 孟佑
教授
機械電子創成工学科

宇宙システムや超小型衛星が専門分野です。在籍期間は短くなりますが、少しでも大学や学生のためになることをしていきたいと思っています。



くすやま じゅんぺい
楠山 純平
准教授
機械工学科

卒業生が10年後に、「千葉工大で良かった」と思えるような教育を目指していきます。趣味は体を動かすこと。



なかやま のぼる
中山 昇
准教授
機械電子創成工学科

千葉工大卒です。これまでの経験を活かして、学生の皆さんとたくさん勉強し、楽しく研究したいと思っています。



ひくち ようこ
樋口 洋子
助教
認知情報科学科

教育、研究および大学運営を教職員の皆さんと協働で推進するために尽力します！まずは楽しく学問に取り組めるラボづくりを頑張ります。



まつだ おさみ
松田 紀美
助教
デジタル変革科学科

授業・ゼミ・研究とまだまだ未熟なので、早く一人前になれるように頑張っていきたいと思っています。趣味はご当地キーホルダー集め。

研究員



つねた さく
常田 佐久
所長
天文学
研究センター

千葉工大発の研究成果を出すだけでなく、日本の宇宙開発でも千葉工大のプレゼンを高めていきたいと思ひます。



やまもと ひさし
山本 尚
所長
次世代ペプチド開発
研究センター

現在、研究センターを作成中ひす。今後はペプチドのスクリーニングを世界で初めて行うことが目標ひす。化学が趣味ひす。



あざみ けいしろう
浅見 慶志朗
主任研究員
次世代海洋資源
研究センター

研究成果をどんどん出して、プレスリリース等で千葉工大の知名度やイメージ向上に貢献したいと思ひます。余談ひすが、千葉工大の学食はどの研究機関より素晴らしい!

職員



さたけ わたる
佐竹 渉
研究員
地球学
研究センター

海外調査をはじめ、屋外に出て研究や実験をする機会が多く驚いてひます。この環境で真摯に研究に取り組み、将来的にはこの分野をリードしてひきたいひす。



ひさもり りょう
久森 亮
グループ長補佐
入試広報部

とにかく職員のみなさんがやさしい! 学生に対する「愛」にあふれた職場ひす。これまでの人生経験を活かして頑張りひす。趣味は野球、ゴルフ。



たなか ゆり
田中 友梨
事務職員
入試広報部

コミュニケーションが多く明るい雰囲気の中、分からないことは優しく丁寧に指導いただけるので、先輩方から沢山のことを学び、少しでも早く追いつけるように頑張りひす。



はたえ ももこ
波多江 桃子
事務職員
教学センター

学生との距離が近く、親身になって相談を受けている印象ひす。様々な仕事を覚えて、円滑に業務遂行できるように頑張りひす! 趣味は水泳。



ますだ ともみ
増田 知己
技術員
施設部

他部署の方ともコミュニケーションを図り、明るく親しみやすい環境ひす。いろいろなことにチャレンジして学び、今後の業務に活かしてひきたいひす。



あさま きゅうや
浅間 久弥
警備員
総務部

気さくな方が多く、安心して勤務できる環境ひす。“警備”という視点で、万全のバックアップが出来るよう尽力したいと思ひます。趣味は登山、筋トレ。



よしだ ひろき
吉田 裕樹
警備員
教学センター

和やかでありながら、厳格な雰囲気を持つ警備の仕事。日々職務に精進してまいひます。趣味はルアーでの海釣り。



就職・進路に役立つ情報をお届けします

就職・進路支援だより



就職・進路支援部からのメールをチェックしよう

4年生・修士2年生向け支援

3月に企業の採用活動が解禁され、すでに内々定を獲得している方もいるのではないのでしょうか。まだ就職活動を継続している、まだ思うように動いていない方は、今後、開催決定次第メール配信等でお知らせする学内企業説明会に注目し、積極的に参加してください。千葉工大生を積極的に採用する企業が集まるため、例年多くの内定に繋がっています。6月には、地元千葉県の企業が集まる合同企業説明会を実施予定です。こちら、詳細確定次第メール配信等でお知らせします。引き続き多くの求人が寄せられていますので、就職・進路支援部に気軽に相談ください。また、就職システムからの個別面談予約や、当日の相談枠も利用してください。

3年生・修士1年生向け支援

夏以降にインターンシップや企業イベントへの参加を検討している方を含め、近い将来やってくる就職活動に向け、しっかりと準備を進めていきましょう。企業イベントに参加する際に役立つ、インターンシップ関連講座がスタートしていますので、積極的に参加してください。詳細は、メール配信等でお知らせしています。日程の追加はありませんので、計画的に参加を検討してください。予約は先着順です。

また、障がい等があり勤務にあたり配慮を必要とする学生、配慮と

はどのようなことか知って就活の方向性を検討したい学生向けのガイダンスを、6月13日(木)13時から1時間程度実施予定です。ハイブリッド開催を予定しており、他学年の参加も可能です。詳細はメール配信等でお知らせいたします。

インターンシップ関連講座(6・7月開催分)

講座名	日程	内容等
インターンシップ準備講座	6/13(木) 6/29(土) 7/4(木)	最近のインターンシップの実態や活用方法、採用担当者のチェックポイントなどをお伝えします。グループワークを取り入れながら、実践的な体験もできます。
インターンシップ直前マナー講座	6/28(金) 7/4(木) 7/13(土)	ビジネスの際の基本行動や、職場におけるコミュニケーション、スーツの着こなしなどについてお伝えします。
自己分析講座	6/15(土)	就職活動において重要な「自己分析」とは？まずはしっかり自分自身について振り返りましょう。
ES対策講座	6/15(土)	企業へのアプローチの第一歩となるES(エントリーシート)とは？書き方の基本を知り、実際に書けることを目指します。
面接対策講座	7/13(土)	面接の種類や、採用担当者のチェックポイントなどをお伝えします。

対象：学部3年生、修士1年生

予約：就職システムの支援行事予約

★全て学内での対面実施です。

実施場所・時間等の詳細は、就職システム及びメール配信をご確認ください。

★服装自由/マナー講座のみスーツ着用推奨(上着不要)

PPA



昨年4月に新習志野キャンパスへ赴任した。着任当初はまだコロナ禍であったため、毎朝正門で学生の入構状況を確認していた。程なくして入構規制は解除されたが、折角の機会と思い、授業期間中は毎朝9時頃まで正門に立ち学生と挨拶を交わすことを日課としている。最初は声を掛けても戸惑っていた学生達も、前期が終わる頃には、挨拶を交わせる学生も多くなり、それはキャンパス内ですれ違う際にも同様となったことは、とても嬉しく思う。

また当初、不安気に登校していた学生が徐々に明るい表情となり、元気にG.Wを迎えている姿に今年もホッとしている。そして、長期休暇明けでも休むことなく多くの学生が元気な姿で登校することに、いつもホッとする。この繰り返しが大学職員としての喜びでもある。

前期終了まで、あと約2ヶ月。日々の課題、中間試験や期末試験など大変だと思うが、学生達が元気な姿で登校できるよう願いながら、これからも正門に立ちたいと思う。

教学センター 宮澤 英徳

四季雑感



初夏を迎え、暑い日が多く、早々に衣替えをした。クローゼットには、出番の少なかったスプリングコートが、心なしか寂しそうにぶら下がっていた。年々、暑さが増すので「早く夏が終わって涼しくならないかなあ」なんて思ってしまう。

2月と5月にロンドンを訪れた。「イギリスの冬は天気がわるい」というイメージがあると思うが、その通りで、一日中薄暗く、青空と太陽が見える日はほとんどなかった。不思議なもので、空のように気持ちもどんよりとしてしまう。日照時間とメンタルヘルスの関係については定説が存在するが、身をもって体験した。

5月には春から夏へと一気に季節が変わり、新緑と花々に彩られる過ごしやすい気候であった。冬に閑散としていた街中や公園は、この季節を待ちわびていた人たちで賑わっていた。冬が長いこの国の人たちにとって、短い夏は、屋外でゆっくり過ごすことができる貴重な時間なのだ。

夏を待ち望むか、過ぎ去るのを待つか。これから、様々な地域や国の四季雑感に触れてみたい。

教育センター 野村由実

編集だより



引っ越ししてから始めたピオトープ。庭の片隅に、自分なりに工夫してわりと「いい感じ」の空間が誕生した。最初の1つ目、メダカ10匹から3年たった今では、大小さまざま数えられないくらいに増えつつある。産卵期になると水草に埋もれた卵を見つけては水槽を増やし、水仙やホテイアオイで彩られた水の中を稚魚がスイスイと勢いよく泳ぐ姿を眺めるのは癒やしそのものだ。この夏も新しいタイプのピオトープ作りに挑戦できないかと常に考えている。

しかし、風が強い日や大雨、台風が近づくと、鉢植えが倒れ、メダカの水槽が被害をうけることしばしば。せっせと世話をしている旦那が、悲しそうな顔で壊れた水槽を片付けては、何か良い対策はないのか？と試行錯誤。庭のピオトープは日々進化し続けている。

新制「ニュースCIT」になってから2号目の5月号。いつの間にか4月号をウェブサイトへアップしたの？と、認知度の低さに悩む。うちのピオトープと一緒にすべきではないが、もっともっと魅力的に進化するよう努力あるのみ!!

入試広報部 大橋 慶子